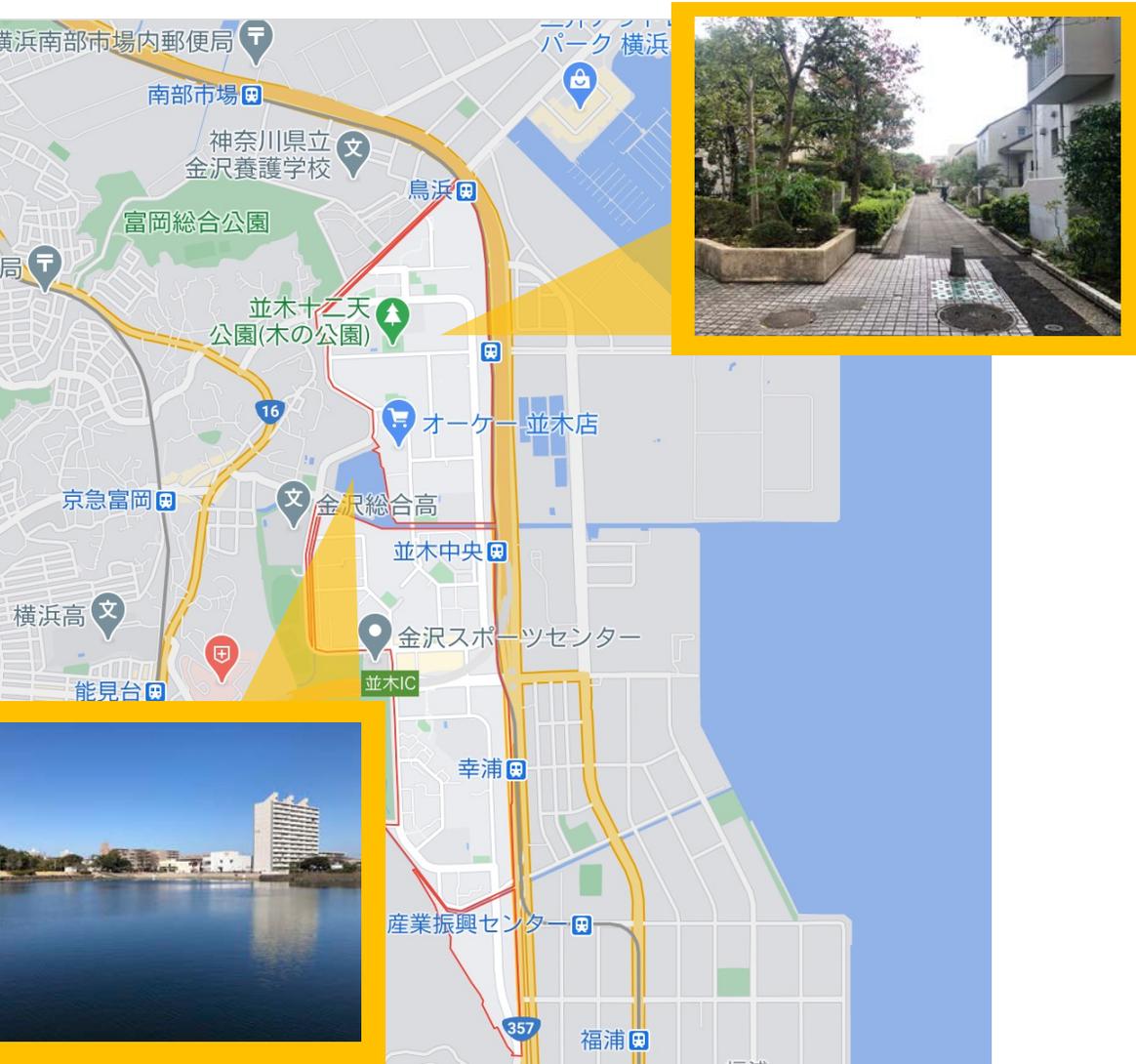


ナミキアートプラス

並木のパブリックアートプロジェクト

YOKOHAMA AIR ACT実行委員会

金沢シーサイドタウンについて



1970年代から始まった「横浜市六大事業」の一環として、都心部と同時に開発された地域

- 整備された時期によって
デザインが変わる街並み
- 最初の移住者は約40年ほど経過
- まちの高齢化≡住みやすいまち
- 高層階に住んでいた人が低層階へ
- 親の介護のためにUターンする若い世帯も

ナミキアートプラスとは



日常生活の中で、
アーティストに出会い、
アートを体験できる状況をつくる



世代や生活スタイルの異なる
住民同士が
アートをきっかけにつながり、
今まで気づかなかった
並木の「魅力」を発見する

ナミキアートプラス ロジックモデル

インパクト

アートを媒介に参加者（住民・来街者）が交流する機会が増え、並木というまちが内外に開かれる。

アウトカム

活動環境が整う
・制作、滞在、発表の場所の確保
・地元の活動団体との連携体制の確立
・地元の協力者の存在(の確立)

並木の新しい魅力創出と発信
・AP、文化芸術活動、WS、鑑賞機会の創出
・地域の人自らが自分たちのまち魅力を発信する

▲PJ終了後

アートイベントが定期的に開催される

事業内容 (アーティスト)	事業目的	調査対象		地域住民 WS参加者 来場者	SNS投稿	現地団体
		アプローチ	構成要素			
		アウトプット	指標			
キム・ガウン 「旅がくれた贈り物」 AIRをベースとした パブリックアート プログラム	・場所性や地域性の 表出 ・アーティストや 表現活動への理解 促進	AIR	・滞在制作場所 ・リサーチ ・制作活動 ・制作サポート	※コロナ下での関心を高める取り組みは難しい。	・作品の完成までの過程を可視化する。【広報・アーティスト側の発信】	・アーティストサポートの機会をつくる。 ・滞在所の確保に協力してもらう（並木ラボ）
		公開制作 (屋内・屋外)	・制作場所 ・制作サポート	・アーティストとの関わりを創出する。 (屋内制作の見学・屋外制作の見学)	・作品の完成までの過程を可視化する。【広報】	・制作場所の確保に協力してもらう（並木ラボ）
		パブリックアート	・作品プラン ・展示場所 ・地域の承認	・魅力的な作品を展示する。 ・歩いていたら、ふと気づくような位置に設置されている。（家・路地など）	・魅力的な作品を展示する。	・展示場所の確保に協力してもらう（並木ラボ・コミュニティハウス）
池田光宏 《BGAプロジェクト -横浜・並木のアート シーン-》 市民参加型の パブリックアート プログラム	・アートの日常性の 表出	参加型 アート	・公募 / 現地調査 ・インタビュー ・物撮り	・参加者にアートが身近なものであることの気づきを促す。	-	・人脈の中で対象者を見つけていく（商店・個人共）
		WEB展示	・補足映像撮影 ・映像編集 ・特設HP作成	・パブリックアートの鑑賞者が、WEBへアクセスしやすくなる。	・鑑賞者（閲覧者）が、他の人に伝えたいと思えるコンテンツにする。	-
		パブリックアート	・作品プラン ・制作活動 ・展示場所 ・地域の承認	・魅力的な作品を展示する。	・魅力的な作品を展示する。	・場所の確保に協力してもらう（並木ラボ・コミュニティハウス）
orangcosong 『演劇クエスト-白昼の バスケット冒険団とふし ぎな依頼人たち-』 市民とまちをつなぐ プログラム	・地域住民の能動的な 関わり ・まちの魅力や課題の 表出	協働制作	・ヒアリング ・現地調査			
		まちあるき (冒険の書)	・紙面デザイン ・印刷製 (web?) ・配布場所 (方法)	・まちあるきイベントの開催 (コロナの中で可能であれば)		

各プロジェクトの位置付け



キム・ガウン「旅がくれた贈り物」

AIRをベースとしたパブリックアートプログラム

- 場所性や地域性の表出
- アーティストや表現活動への理解促進



池田光宏《BGA プロジェクトー横浜・並木のアートシーンー》

市民参加型のパブリックアートプログラム

- アートの日常性の表出

orangcosong『演劇クエスト』

←講座プログラムの代替として

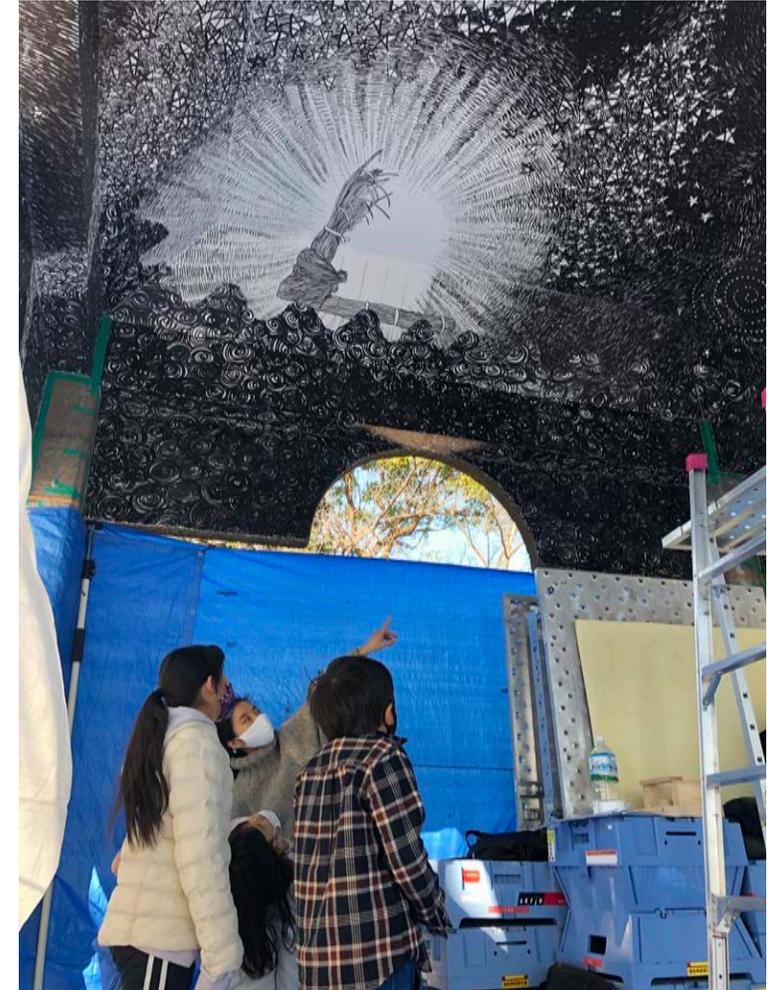
市民とまちをつなぐプログラム

- 地域住民の能動的な関わり
- まちの魅力や課題の表出



制作期間に起こったこと（キム）

- 制作中の地域住民との交流
- 地域在住の大学生による制作サポート
- 制作の様子を見学した児童からの応援



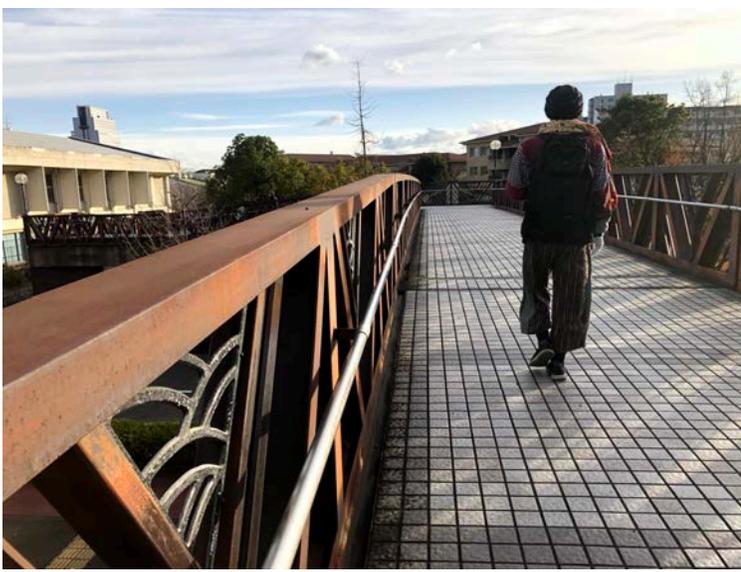
制作期間に起こったこと（池田）

- コレクション提供者のエピソードを聞き取る過程での出会い
- 商店街からの不満の声（！）



制作期間に起こったこと (orangcosong)

- コロナ禍により従来通りのリサーチが困難
- オンラインを通じて並木にゆかりある人々への取材を行った



開催概要

タイトル | ナミキアートプラスー並木のパブリックアートプロジェクトー

展示期間 | 2021年1月16日（土）～1月31日（日）

来場者数 | 1,262人（インフォメーションでのカウント）

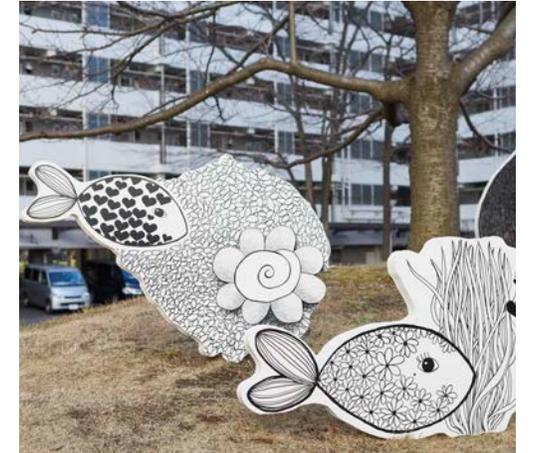
主催 | YOKOHAMA AIR ACT実行委員会

共催 | 横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会（あしたタウンプロジェクト）

助成 | 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜市

参加アーティスト | キム・ガウン、池田光宏、orangcosong

キム・ガウン 《たそがれる》



キム・ガウン 《ここにいる》



キム・ガウン 《願う》



撮影：笠木靖之

キム・ガウン 《海を想う》



撮影：笠木靖之

キム・ガウン 《君に会う》



撮影：笠木靖之

展示期間に起こったこと（キム）

- キムガウン作品《君に会う》の一時撤去
- キムガウン作品《君に会う》に対する批判
- キムガウン作品《願う》の継続設置への声



撮影：笠木靖之

池田光宏

《BGAプロジェクト－横浜・並木のアートシーン》



展示期間に起こったこと（池田）

- 「こねこ」が移動
- 作品が売れそうになった！



撮影：川瀬一絵



撮影：笠木靖之

orangcosong 『演劇クエストー白昼のバスケット 冒険団とふしぎな依頼人たち』



展示期間に起こったこと (orangcosong)

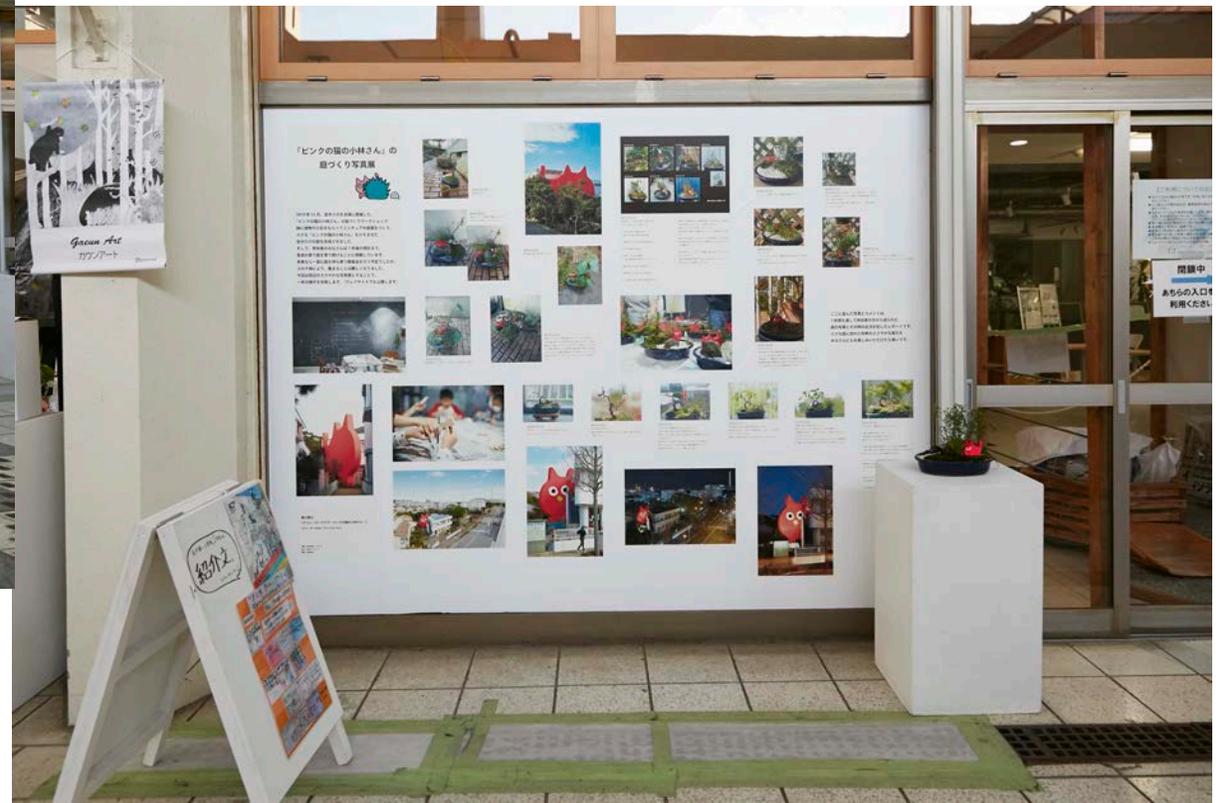
- 地元から配布の応援団が自然発生
- 来年度もこの作品をもとに活動の可能性 (あしたタウンプロジェクト)



インフォメーションの設置

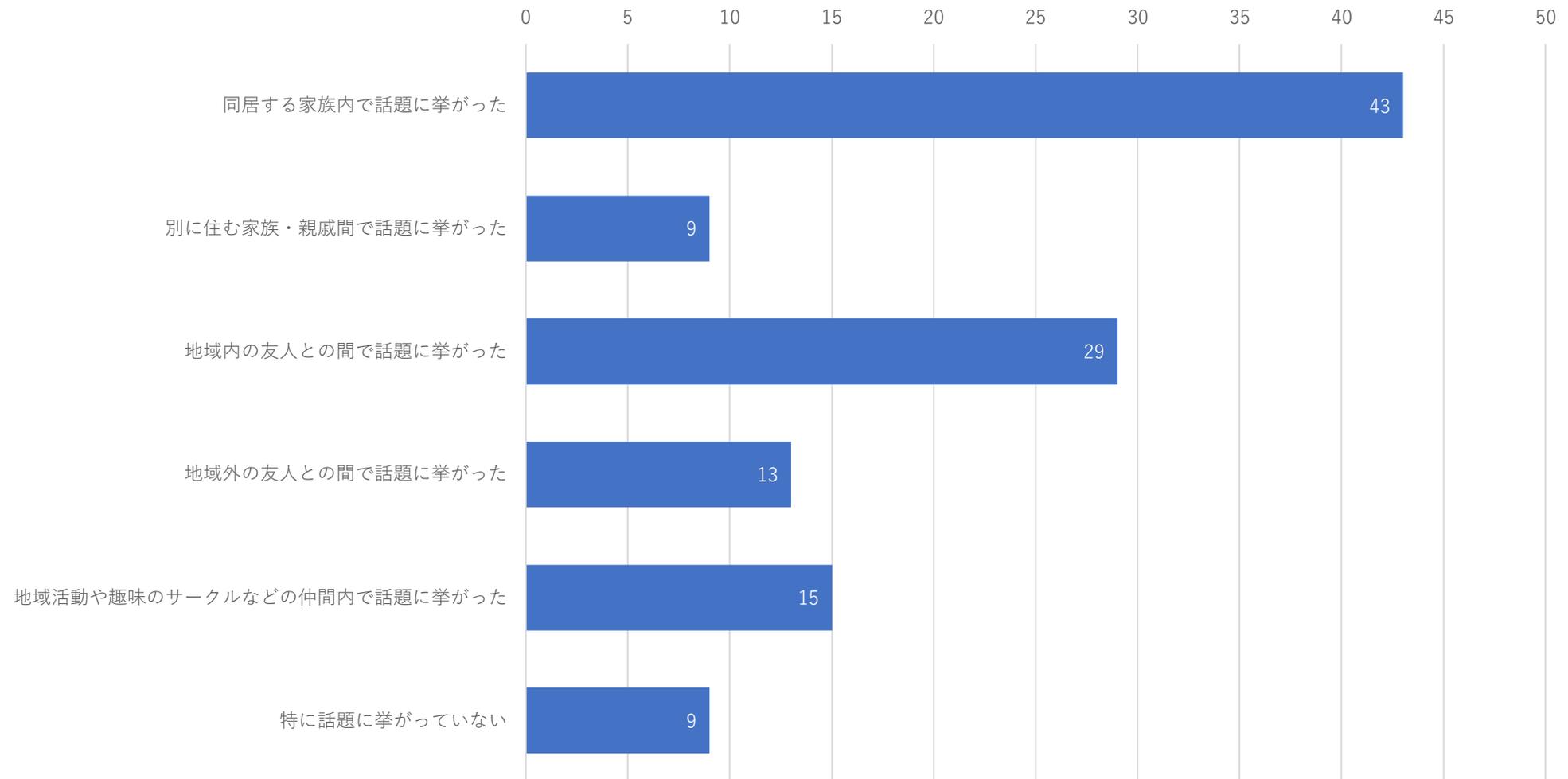


撮影：笠木靖之



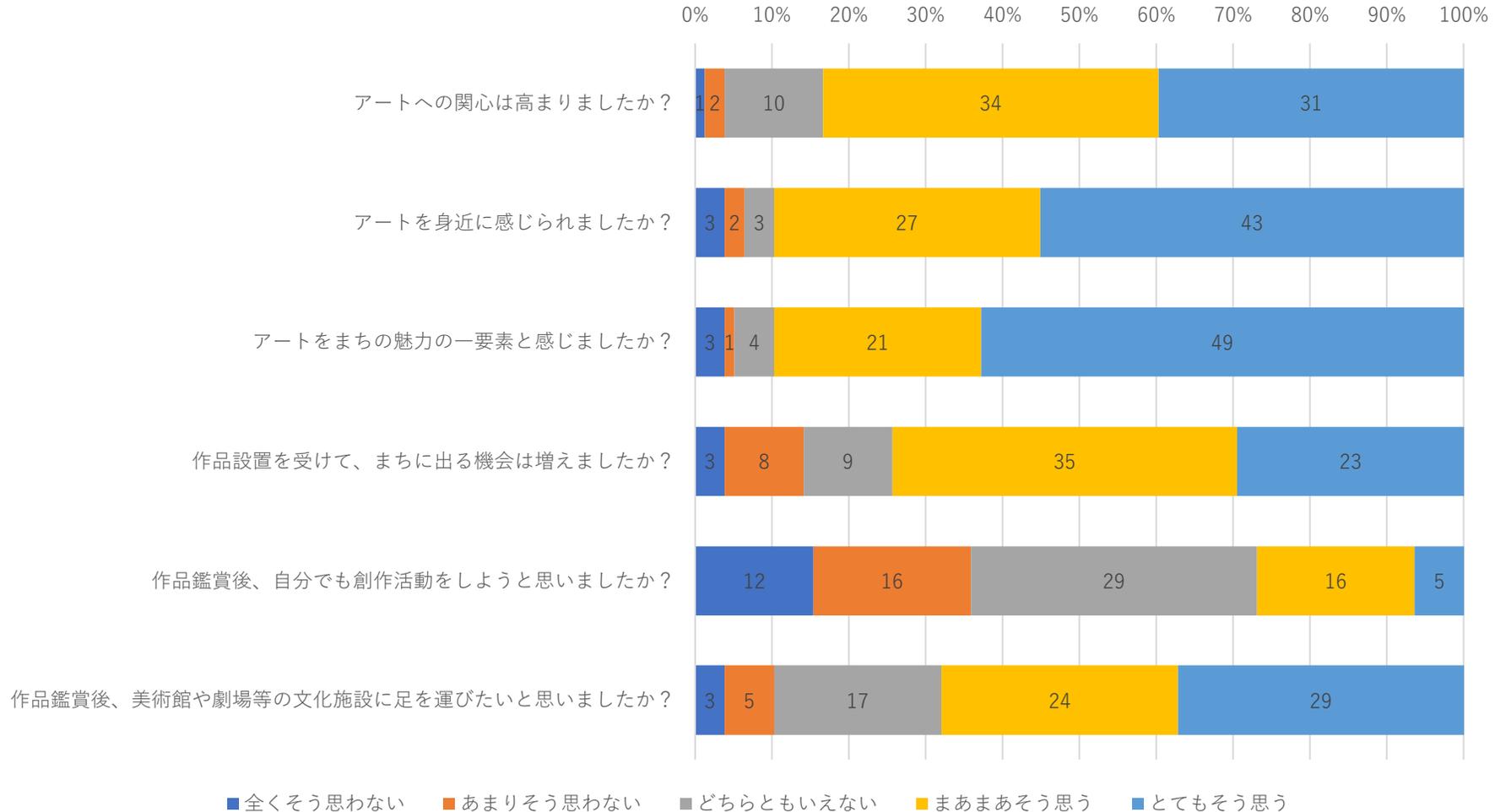
来場者アンケートから

Q5 まちに設置されたアートについて話題に挙がりましたか？（複数回答可、回答数78）



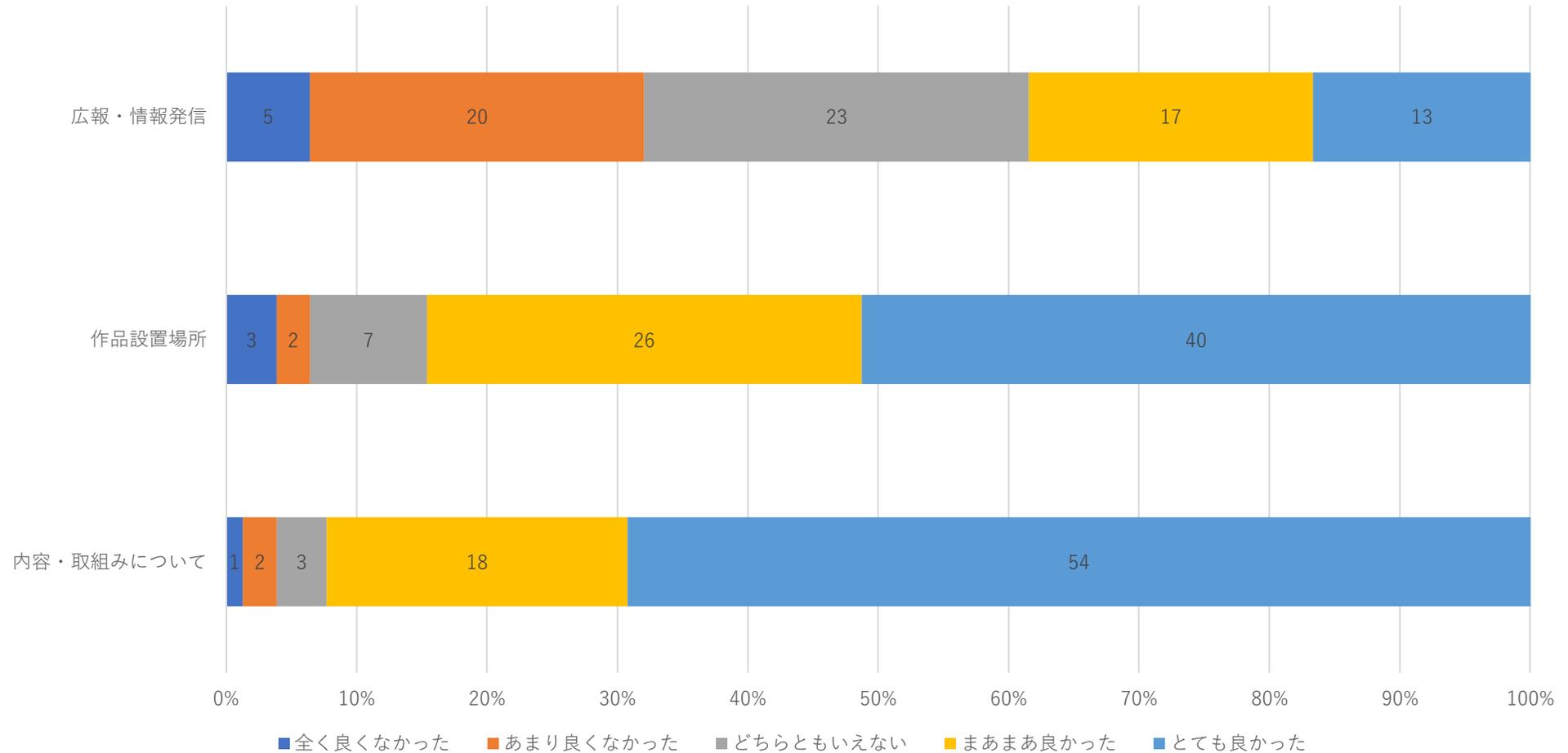
来場者アンケートから

Q6 作品を鑑賞して気がついたことを教えてください。



来場者アンケートから

Q7 まちにアート作品を設置する本取組みについて印象を教えてください。



関係者へのヒアリング

- 知らないことを知ることができる機会。今までこのまちにはなかったもの。刺激になったと思う（連合自治会長）
- 自分という存在の関わりによって、地元の友人たちもこのプロジェクトに関心を持ってくれた。地元でやりたいと思っていたことを、実現に向け一歩踏み出すきっかけとなった（大学生）
- 並木に住んでいるが、地縁的なつながりのない層がどれほどこのプロジェクトを知ることができただろうか
→ 継続性や周知方法への課題（地域住民Aさん）

ナミキアートプラスのこれから

- 地域の団体（あしたタウンプロジェクト）との協働
- 地域のプレイヤー（大学生、インフルエンサー）との協働



アーティストたちの活動の場を広げる



YALのみなさん、
ありがとうございました！

